



# 昭和四十七年度の 村政施政方針を表明

## 〈第一回定例村議会で〉

昭和四十七年度の第一回定例村議会の開会にあたり、村長の四十七年度の村政執行方針演説があり、この中で、本年度の村政執行の方針を次のとおり表明しました。

### 《施政方針演説要旨》

四十七年における施政方針とあわせて、村の将来の計画、見通しについても若干つけ加えて説明いたしますが、本村の経済、産業の実情というものにふんまえ、この施政の基本施策はあくまでも、  
▽漁業の振興



議長答弁する棟方村長

### ▽陸上産業の開発振興

### ▽観光開発の振興

### ▽社会福祉施策の振興

これらを基本的な柱として、進みたいと思います。

これから申し述べることは単なる外面的なものではなく、ほとんど九分通り四十七年度予算に経上し、実現しようとするものであります。

ただ基本的には国道・海岸護岸の復旧など、できるだけ国の公共事業費を導入することにとめると共に、諸々の制度を活用、これにのせて補助又は有利な起債を仰いで村単独でやる事業の拡大にとめる方向で進みたいと思います。

この際、全半的な基本的なものとして経済成長と社会福祉についての私の考え方をのべてみたいと思います。

単的に申しますと、国・村の施策は基本的に云えば国民の税金によってまかなわれております。

もちろん、わが村の人達が年間収める国税額に比較しますと、毎年国からくる地方交付税一億数千万円、直接の国費・道費の事業の補助などに投入される額は何十倍にもなっておりますが、国全体からすると国民の税によってあらゆるものがまかなわれております。

税によっていろいろな施策が実現できるものでありますから、福

祉対策の経済成長、生産は増大してまいります。

国民の税が多くなることによつて、はじめて福祉対策が拡充できるものであります。

したがって、経済成長、生産を第二にして社会福祉を大切にすることは問題があると思ひます。

そのことは実際は実現が困難なことでありませぬ。

もちろん、経済成長なりにかたむいて福祉をおろそかにすることのひずみがあつてはなりません。

いふならば、経済成長と社会福祉は車の両輪のごとくでなければなりません。特に我村のように原産産業を主体とする地域の実情からすれば産業の開発進展に重点、努力を傾け、国の施策と相まって福祉を平行させる考え方が根本であるべきです。このことから当村

においてはやはり基本方針でいくことが根本でありましょう。次に村の産業別に具体的に申しますと、  
▽水産業については

水産業についてはやはり漁港の整備拡充が必要であります。

四十七年度で鹿部漁港については国の予算が増額されて九千七百万円、本別漁港は約二千七百万円と当初よりその後の努力と各方面

の努力によつて、いささかでも増額されたわけでありませぬ。

ただ問題は鹿部港で四十六年度

の追加分に加え、一億数千万円、内容は沖の「けいそん」に巾三メートルの六個を投入するということであり、役所としてはこれで十分に外港に大きな時化でも波が浸入しないと自信、安易に申しているが、私は実際やっとうえで大きな時化に対してどうかという不安をもつていますが、しかし、鹿部港においては、第五次整備計画において、相当大きな金が投入されることになっております。これにより完全なものに仕上げることは可能であります。

本別港は将来できるだけ大きなものにするために第四次整備計画では現在出ている「けいそん」から曲げなければならぬ姿をできるだけ沖に出すという方向で当局にいろいろ配慮努力してまいります。

次にいよいよ四十八年から発足すると思われる第五次漁港整備計画は本年の六月頃には一応の最終的の予定を見るところで、この機会を失せまいと申すので、この協力を得て強力に各方面への努力をします。道単独工事では西防波堤の拡中、内港舟揚場はまだはつきりしていませんが、さらに漁港がせまいなどでこれらの最も良い姿、物揚場、舟揚場などの利用上の問題については漁港管理委員会の活動、ご協力に期待しております。

次に主産物である昆布の繁殖するための具体的な方向に努力しなければなりません。

さらに人工繁殖もせつかぐ皆さんが努力しているので、ますます向上させたいと考えるが、先般の災害のために消極化しないようにさせたいと考えております。

本村の現状からして漁船漁業を

まだまだ拡大していく方向がほしい。このためには漁協の考え方も基盤として近代化資金ワクの拡大はもちろん、村自体の貸付金制度などの創設を検討したい。

出来潤に出来た栽培漁業総合センターの施設を多いに漁民が利用活用してほしいと思ひます。

なお漁業の振興については漁協の計画方針を基本として、これに強く積極的に協力する体制で参りたい。少なくとも漁協の意欲、努力に関係なく頭ごなしで村だけでやるといふことは妥当でないと思ひます。海岸護岸の災害復旧の促進と合わせ、いろいろな諸問題のある船揚場の整備対策は四十七年度で国・道の援助も受け、特に本別地区の護岸工事の対策には全努力をあげて予算面でも相当の額を経上し推進して参ります。

さらに鹿部港から鹿部川までの間には従来船揚場がないため、この地区の大きな障害となつております。これを本年はぜひ解決し、具体化したと思ひます。又、大岩地区は非常に高波の影響が大きいので船揚場のそばに消波工を年次計画で実施して行くつもりです。本年度は一、二ヶ所実施したいと思ひます。

▽畜産業について

畜産については村営草地の生産の増強、合理化、万豊敷草地の造成、これは四十八年度から事業実施となるが、これの利用についてはよほどの注意を傾注しないと赤字になる要素があるので特殊な方法で経営していかねばなりません。駒ヶ岳山麓の国有林の払下げを受けて草地造成をするが、一、二年においては、自然公園の美

し

化として考えたいと思います。

次に農協・牛部会・養とん部会との意欲も大事であります。最近におけるそれぞれの総会・役員会において再建策など積極的な事業の対策に旺盛なものが感じられるので、本年度内にその基盤を確立させる方向をとりたいと考えます。このためには強力資本の参加などもあり、さらには国(農林省)の四十七年度からのこうしたものに対する市場にみる強い援助政策など予算面でもとっているもので、充分検討したいと思えます。

▽観光開発事業

遊覧飛行場の積極的な運営、これはまだ確実なところではありませんが、飛行学校の開設の方向も多岐に協力して実現したい。幸いビーチサイドホテルが最下建設中で大体おそくても七月十五日頃完了でしよう。オープン運営は大体三百人くらい収容できる宿泊施設で、主として修学旅行生などの宿泊を主なものと考えます。

リハビリテーションは引渡は六月いっぱい完了し、医師、看護婦、その他の従業員、技術屋などをそろえて九月から看者が入院して実際に運営しようという姿であります。この病院の建設が終了すると同時にできるだけ早くに、湯治用の施設を建設すべく話し合いを進めています。

観光開発公社の活動は十二月以降めばしい事業はないが、議事終了後公社の活動を積極化しなければならぬし、公社の斡旋による土地の開発も新年度からいよいよ具体化することになっております。又、現在事務がすすめられておりますが、横津スカイラインの構想

による開発も内々進んで具体化されております。これは画期的な事業計画が進められると期待しております。

要約した状態から村としては観光のPRに積極的な体制をとらなければなりません。又土産品生産を奨励したいが、現在のところ、やる意志をもって企画し、積極的な業者がいらないことが残念に思いますが、観光に関連して大きな開発を促進するため、許可を受けていた温泉ボーリングを本年度実施したいと思えます。港のそばのホテル用の温泉については四十六年度で追加決定次第、これの施行にしたいと思えます。

尚、村営の養まん場は現状のままでは消極的でありますが、温泉・水の問題があるが豊富な姿にして積極的な経営に入り、村の観光資源の大きな基盤にしたいと思えます。

▽商工会活動について

一昨年創設された商工会の運営についてはできるだけ支授し、活動の活性化を図りたいと思えます。

▽土木事業について

村道改良、舗装の推進は四十七年度で幸い一本は国費、一本は道費対象に、まだ決定はありませんが、この方向に進めています。

こうした国・道の補助に関連しながら積極的な道路の改良を行なうて参りたいと思えます。

特に本年は道路の排水口のフタをコンクリート製のようぶなものでか鉄製のものにするか検討し、できるだけ整理したいと思えます。ただ下水構の掃除は毎月、日を定めて部落の人達で掃除する慣習をつくってもらいたいものです。

又、未舗装道路についても早急に実施し、あわせて舗装ヶ所の補修も早急に実施したいと思えます。冬期の除雪は国・道から補助を受け除雪車の新規購入を図り、冬期間の除雪体制の万全を期するものであります。

交通緩和に関連してバス運行の確保のために赤字路線に対して、村が協力して行く考え方をもちております。次に、宮浜市街地の横断新路線の用地問題を解決し、来年度以降補助を受けて新路線の建設を図りたいと思っています。これは、広域市町村圏、山村振興計画でも計画しているものです。この路線についての用地問題は本年度中に解決をつけたいと思えます。

▽社会福祉問題について

老人医療の無料化は、相当な村負担ですが、幸い国もいよいよこれを実施することに内定しているようでありますので、財源的には助かると思えます。老令年金制度はある高額所得者に対しては交付されないことがあるため、わづかであるが、村として、これらの老人に対してもいくらか補助できる制度を考えたいと思えます。

又、児童手当は本村としても全面的に実施いたしますが、幸い、この面についても国の財源措置が非常に多いことで、全面的に実施いたします。次に葬祭費について現在の二千元を五千元にし、火葬場使用料一、五〇〇円を三、〇〇〇円に値上げいたします。

そのかわり、焼子に対する貸金は村が支払うことといたします。▽環境衛生について 衛生組合の強化、町内会との協

力、場合によっては組合を解組し町内会との関連を基礎に強化して参りたいと思えます。

ゴミ処理については、森町、砂原町、鹿部村が一部事務組合を創設し四月に発足させ、四十八年度で共同の大がかりな施設を設計、場所の選定、運営上の問題などを本年度中に三町村が協力に進める方向に進んでおります。又、し尿処理はゴミ処理と同じく四十九年度に施設を設置することとし、南茅部町も含めた四ヶ町村で進めたいと思っております。

▽国保事業について

本年度はぜひ保健婦を設置し、先般来、保健婦の養成所に行つて交渉している人がいないこと、学校の指示ではなく、本人の意志などでまだ決定していませんが、養成所や道に向いて強力に要請いたします。

次に救急業務であります。赤十字社の協力のもとに村に救急車を置きます。急病人が出たときはこの救急車で送ることなどをしたと思っております。

▽地域集会所の建設

地域の話し合いの場を多くするため、今年度は本別地区に集会施設(生活改善センター)などの建設を図るため、話しがすすめられておりますが、できれば宮浜の西部地区にも建設したい考えであります。

▽公害問題について

道条例の検討をし、これ以外に町村としての程度の規制をするか、必要ないかなどの充分な検討をしたい。最下、企業誘致の場合強力な指導によって、これをなくするという姿を進めたい。

▽上水道事業について

上水道は四十六年度に出来湖地域に二千六百万円の事業費を経上しましたが、このため近く上水道料金を値上げするためと考えられていません。当面、特別な事情のない限り値上げをしなくても良いと考えます。

▽庁舎前の整頓について

庁舎前の整頓については、例えば木を植える花壇なども充分協議して、遂次出かして行くつもりです。名木の寄附者も遂次出ております。このことには大変厚くお礼を申し上げます。

▽その他

本村の事業・事務処理の迅速、適制化については、職員の責任、意欲の向上に努力して行くと同時に、職員給与の是正を図って行きたいと思えます。以上のようなことで問題になることは財政上のごとであります。計画は沢山ありますが、本来、村のもつ財力、規模を充分考えて行かなければなりません。

幸い、本村は各位の努力によって、特殊な財源確保がなされていますが、なんとしても財政の確立、健全性を堅持しながら、しかも事業が多いことから起債などに依存するところ大であります。私の見通しで、本村の規模、将来の展望から財政の規模は充分拡大されると思われまので、その点についての支障はないと思えます。

以上をもって施政方針にあつての概要を申し上げたが、村民各位の協力を合わせてお願いし村政の施行をいたしたいと思えます。

# 昭和47年度 一般会計予算

## 4億5千3百89万3千円とする

昭和四十七年度の一般会計予算は歳入歳出それぞれ四五三、八九三千元と定め、議会の可決がなされました。その主な内容は次のとおりです。

▽歳入(単位は千円)

1 款 村 税 28,511千円

村民税七、九二六千円(個人分七、〇七四千円、法人分八五二千円)

固定資産税一〇、一八八千円(税率一〇〇分の一・四)

国有資産等所在市町村交付金及び納付金二、〇九八千円(交付金課税税率一〇〇分の一・四、納付金税率一〇〇分の一・四)

軽自動車税七五三千元(原車自転車五〇〇〇以下五〇〇円、五〇〇〇以上九〇〇〇まで八〇〇円、九〇〇〇以上一二五〇〇まで一、〇〇〇円、軽自動車税二輪車四、五〇〇円、四輪貨物二、五〇〇円)

村たばこ消費税六、〇三二千元(税率一〇〇分の一八・一)

電気ガス税一、三〇〇千元(税率一〇〇分の七)

木材引取税二千元

入湯税一八二千元(税率一人四〇円)

2 款 自動車取得税交付金 3,230千円

3 款 国有提供施設等所在市町村助成交付金 217千円

4 款 地方交付税 166,507千円

5 款 交通安全対策特別交付金 109千円

6 款 分担金及び負担金 2千円

7 款 使用料及び手数料 6,621千円

8 款 国庫支出金 33,248千円

使用料四、六七九千円(保健衛生使用料八五千円、土木使用料四、五五九千円、教育使用料三〇千円など)  
手数料一、九四二千元(戸籍、村税督促、住民登録、事務手数料四四五千円、保健衛生、清掃手数料九六二千元、農林水産手数料五三五千円など)

9 款 道支支出金 48,655千円

(教育費国庫負担金五五七千円、民生費国庫負担金六、〇八四千元、土木費国庫補助金二四、三六〇千円、消防費三〇〇千円、教育費国庫補助七八六千円、民生費一〇〇千円、民生費委託金一、〇六一千円など)

10 款 財産収入 23,921千円

(総務費補助二八三千元、民生費二、三四三千元、衛生費補助金二七千円、農林水産業費補助金四二、四八六千円、土木費補助金九六八千円、委託金八八〇千円、民生費負担金一、四五八千円など)

11 款 寄附金 6,340千円

(財産貸付収入一、八三七千円、不動産売払収入八、四九八千円、物品売払収入一一、七二六千円など)

12 款 繰入金 2千円

(財政調整基金繰入金六、三四〇千円)

国民健康保険

事業特別会計

歳 出 (単位:千円)				歳 入 (単位:千円)			
款	本年度予算額	前年度予算額	比 較	款	本年度予算額	前年度予算額	比 較
1 総務費	4,213	3,455	758	1 国民健康保険税	28,580	25,960	2,620
2 保険給付費	79,364	58,875	20,489	2 使用料及び手数料	5	5	0
3 公債費	50	50	0	3 国庫支出金	55,198	36,517	18,681
4 諸支出金	2	2	0	4 財産収入	2	2	0
5 予備費	300	200	100	5 繰入金	1	1	1
				6 繰越金	1	1	0
				7 諸収入	142	97	45

13款 繰越金

1千円

14款 諸収入

98,729千円

15款 村債

37,800千円

▽歳出 (単位千円)

1款 議会費

9,874千円



2款 総務費

79,794千円



(職員給与一、一七七千円 職員手当等七、〇八九千円 文書広報費六四五千円 財産管理費二五、七九一十千円 地方振興費三、八一二十千円(区長手当など) 財政調整基金八六〇千円 交通安全対策費一、五七五千円 交通傷害保険費六七一十千円 交通傷害見舞金一、二四〇千円 税務総務費四、〇八一十千円 賦課徴収費一、〇三〇千円 戸籍住民基本台帳費一、〇六一十千円 選挙啓発費一〇〇千円 村農業委員選挙費一五〇千円 渡島海区漁業調整委員会委員選挙費一九五千円 村議会議員村長選挙費五二五千円 統計調査費三二七千円 庁舎建設費一、〇〇〇千円など)

3款 民生費

23,866千円



4款 衛生費

5,930千円



5款 農林水産業費

173,102千円



6款 商工業

10,713千円



7款 土木費

70,412千円



8款 消防費

6,573千円



9款 教育費

35,268千円



10款 災害復旧費

14,946千円



11款 公債費

21,845千円

12款 諸支出金

70千円



13款 予備費

1,500千円

(教育委員会費六一七千円 事務局費六、一七九千円 小学校事務局費六、一七九千円)

歳出 (単位:千円)

款	本年度予算額	前年度予算額	比較
1 飼育費	33,319	32,227	1,092
2 公債費	1,800	2,700	△ 900
3 諸支出金	1,000	1,000	0
4 予備費	500	500	0

歳入 (単位:千円)

款	本年度予算額	前年度予算額	比較
1 財産収入	34,677	34,500	177
2 分担金及び負担金	10	10	0
3 使用料及び手数料	1,650	1,650	0
4 諸収入	282	267	15

ミシク飼育 事業特別会計

水道事業会計予算

収益の収入 14,265千円 収益の支出 14,121千円 資本の支出 3,541千円

# 行楽期における

## 交通事故を防ごう

本年に入ってから、道南地方で交通事故によって死亡した人は、四月五日現在で二十七名と昨年同様の二倍強という現状になっています。

これから行楽期を迎えるとなりますがマイカーの往来が多くなりますが、この時期に例年悲惨な交通事故が起きておられます。

友達または家族揃っての楽しい行楽がちょっとした不注意から取りかえしのつかない事故につながります。十分注意致しましょう。

みんな揃っての楽しい行楽ができるように「飲むな」「眠るな」「スピードを出さな」をモットーに、次のことを守ってください。

◎酒酔運転を防ぐためには  
○ハンドルをにぎるときは、酒を口にしないようにしましょう。  
○同僚、友人および家族の人達も



車を運転する人には、少しでも酒をす、めないようにしましょう。

◎車を運転して来た人がもし、飲酒したら鍵を預かるようにしましょう。

◎居眠り運転を防ぐためには

○深夜、未明の運転はできるだけ避けましょう。

○長距離ドライブをする人は、途中でかからず休憩をとるようにしましょう。

◎体の具合の悪いとき、寝不足のときは、運転をやめましょう。

◎スピードの出しすぎや、無理な追越しを防ぐためには

○スピード違反をするような無理なドライブ計画を立てないようにしましょう。

○スピードの誘惑に負けないように冷静な運転をしましょう。

○追越しは、路面や交通の流れをよく確かめて安全な方法で行ないましょう。

◎初歩的な交通ルールを守るためには

○出発前には、ハンドル、ブレーキ等の調子をよく確かめましょう。

○一時停止、徐行、合図などをしっかりと守りましょう。

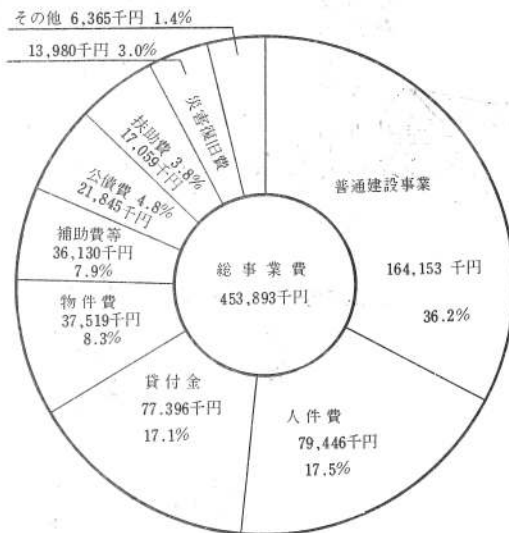
○からふかしや迷惑運転をやめましょう。

みんなが交通ルールを正しく守り、無事故で楽しい行楽期を迎えたいものです。

道警森警察所鹿部

警察官派出所

## 47年度一般会計 性質別歳出内訳



## 鹿中卓球部が

### 教育実践優良団体賞を受賞

昭和四十六年度の渡島教育局の教育実践奨励を、鹿部中学校卓球部が受賞しました。

これは、指導担当教諭を中心に父母ぐるみで、まとまった活動を展開していること。

部員が、部創設の目的をよく理解し、常に戒めあいつ、生活の襟度を持った部の運営を行なっており、村民のひとしく賞賛するところである。

技術の練磨にもよく励み、全国大会二年連続出場の輝かしい記録

をもっている。

部活動の足跡をとどめる詳細な記録と写真、又部員個々の反省記録を作成するなど、ユニークな活動を続けていることに対する受賞で、運動部では同賞を受賞したのは鹿中卓球部が初めてのものと、学校はじめ、関係者はよろこんでおります。

又、同校では輝かしい記録などに対し、卓球部に学校賞を授与してあります。



項目	前年度	本年度	比較	割合
1. 人件費	61,297	79,446	18,149	17.5
2. 物件費	29,818	37,519	7,701	8.3
3. 扶助費	982	17,059	16,077	3.8
4. 補助費等	18,311	36,130	17,819	7.9
5. 公債費	16,589	21,845	5,256	4.8
6. 貸付金	83,560	77,396	△ 6,164	17.1
7. 災害復旧費	—	13,980	13,980	3.0
8. 普通建設事業費	217,916	164,153	△ 53,763	36.2
9. その他	4,166	6,365	2,199	1.4
合計	432,639	453,893	21,254	100%

# 47年度の主な事業

## 山村振興計画事業などで総事業費380,893千円 広域市町村圏計画

2月号の広報紙上において、村が行なうこれから4ケ年の方向づけの山村振興事業の内、本年度において実施しようとする主な事業は次のとおりです。

これは、山村振興計画、渡島広域市町村圏計画の両計画において実施するものです。以下( )書は該当計画。

### ▷山村振興計画関係

#### ◎交通施策

- 村道常呂山道路線改良工事 (広域山村)  
(字鹿部岩井商店わきより、リハビリテーションまで)  
延長 500m 巾員 5.5m 総事業費10,000千円
- 市街地1号線改良舗装 (広域山村)  
(函バス営業所裏より東光寺線へ接続する路線)  
延長 220m 巾員 5m 総事業費 2,560千円
- 東光寺線舗装 (広域山村)  
(林呉服店わきより東光寺までの路線)  
延長 1,000m 巾員 5m 総事業費 4,000千円
- 漁協裏道路改良舗装事業 (広域のみ)  
延長 500m 巾員 4m 総事業費 3,000千円

#### ◎産業の生産基盤整備施策

総額

- 折戸沢線林道開設事業 (広域山村)  
延長 2,300m 巾員 4m 総事業費 9,200千円
- 常呂林道1号橋架設事業 (広域山村)  
延長 8m 巾員 5m 総事業費 3,000千円
- 造林事業 4,987千円(山村)
- 公団造林事業 3,314千円(山村)
- 鹿部漁港修築事業(山村)  
総事業費 119,375千円(防波堤消波工) ……道施工
- 本別漁港修築事業(山村)  
総事業費28,000千円(防波堤消波工) ……道施工
- 漁船上架船台施設 (山村特開)  
レール斜路68m台車一式 総事業費 7,115千円
- 船揚場整備事業(山村)  
斜路 2,000m 波除堤30m 総事業費12,145千円

#### ○漁場改良事業(山村)

- 投石事業(自然石2,000㎡ コンクリートブロック720,000個)  
総事業費13,570千円

#### ○貝類種苗移植事業

- アワビ20,000個(山村) 総事業費800千円(内、村補助410千円)
- ホタテ20万粒(山村) 総事業費300千円(内、村補助150千円)

#### ○海そう類増養殖事業

- コンブ 120mもの50台(山村) 総事業費 2,768千円
- ワカメ 100mもの 100台(山村) 総事業費 6,000千円(内、村補助 2,400千円)

#### ○岩礁爆破事業(山村)

- 9,500㎡ 総事業費11,145千円

#### ◎社会生活環境施策

##### ○生活改善センター建設事業(山村特開)

- 1棟258.57㎡ブロック平家造 総事業費12,000千円

##### ○公営住宅建設事業(山村)

- 道営2種8戸、村営1種16戸 総事業費31,792千円

##### ○消防施設整備事業

- 小型動力ポンプ付積載車1台(山村) 総事業費1,600千円
- 防火水槽40㎡級有蓋空地用2基(山村) 総事業費 1,400千円

##### ○交通公園設置事業(山村)

- 1,000㎡ 総事業費 282千円

#### ◎国土保全施策

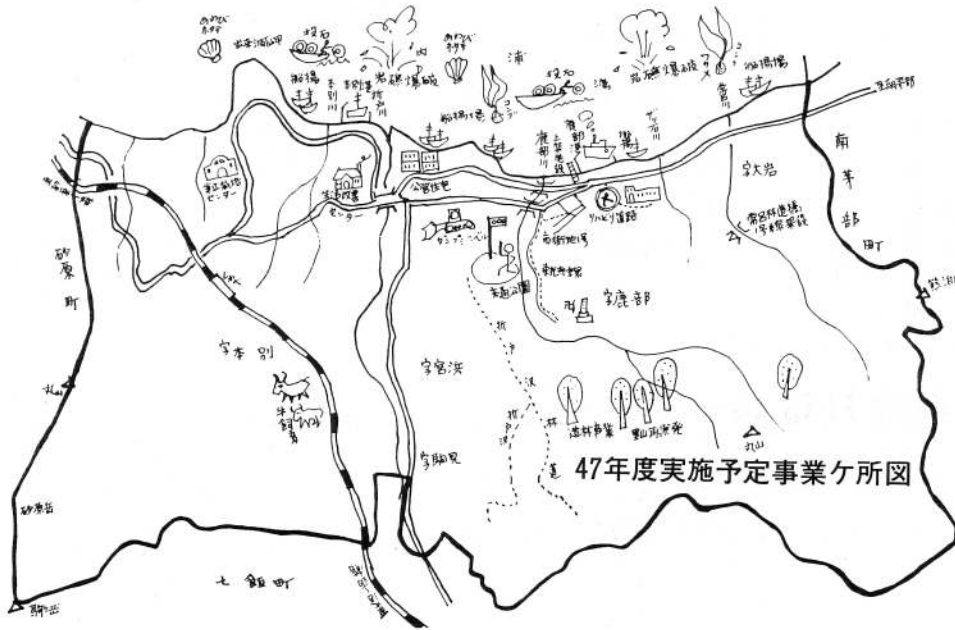
##### ○予防治山事業(道施工)(山村) 溪間工2個

- 小規模治山事業(山村) 溪間工1個 山復工0.1ha

##### ○海岸保全事業(山村) 総事業費85,540千円

#### ◎その他施策

- 除雪機械購入ダンプシヨベル(広域山村) 1台  
総事業費 7,000千円



本村における幼児教育の充実のため、幼児教育のあり方、施設、環境、内容などあらゆる角度から討議を深め、幼児期の教育効果を高め、万全を期すため、このたび鹿部村幼児教育連絡協議会が結成されました。

この協議会は、四十六年六月に中教審(中央教育審議会)が文部省に答申した幼児教育を充実させるため、将来の学制改革に備えて幼稚園教育に対する国民の要請にこたえ、幼稚園に入園を希望するすべての五才児を就園させることを第一次の目標として幼稚園の拡

充をはかるため、市町村に対して必要な収容力を持った幼稚園を設置する義務を課すとともに、文部省もこの答申にもとづいて昭和四十七年度から幼稚園教育振

教育によせる期待と要請にこたえ全国的に進められる幼児教育拡充の歩調におくれることなく振興をはかる」としております。これらのことから、本村の幼児

今後本村の幼児教育に大きく貢献できる活動が期待されます。鹿部村幼児教育連絡協議会

- 役員
- 委員長 川村三郎(議会代表)
  - 委員 滝村虎雄(学校代表)
  - 葛西武夫(教育委員)
  - 山崎篤也( )
  - 小林淳悦(父兄代表)
  - 岩井久子( )
  - 木村フサ子( )
  - 相沢寿寿子( )
  - 大堀良一(役場)
  - 小田博久( )

教育の現状からしてこの問題をさけるわけにはいかない実情にあり同連絡協議会の設立となったものであります。

道においては、「道民の幼稚園

興十ヶ年計画をたて、主要施策の一つとして推進することになっております。

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

### 戸締りを完全にして

#### あき菓の被害を防ごう

ドロボウのうちでも最も多いのがあき菓です。

昨年一年間に函館方面管内で、一三〇件も発生しております。

これを前年に比べてみますと六十九件の減少となっておりますが、これから春の行楽シーズンとなり家族ぐるみで野外で楽しむ機会が多くなります。

そこをねらう空巣が多くなるのもこの季節です。

毎度のことながら、家をあけるときはまず完全な戸締りをしてからにしましょう。

◎戸締りは二重にも三重にも錠前はひとつだけでなく、補助的な錠前を二重にも三重にもつけるようにしましょう。

◎貴重品置場に工夫を

空巣の犯人は五分以内でその仕事を終るそうです。

それはほとんどの家庭の貴重品(現金)置場かタンス等とだいた

い決っているからです。大金は家に置かないのが一番ですが、置く場合は置き場所に工夫をしましょう。

◎お出かけのときは必ず戸締りを「ちよつと買物に」ちよつと隣まで「であっても必ずカギをかけて出かけるようにしましょう。空巣はわずかのスキをねらっておりま

◎外出する時は隣近所に留守をたのむことが大切です。お互いの協力で空巣の被害を防ぎましょう。

### 幼児教育を充実

#### 幼児教育連絡協議会結成

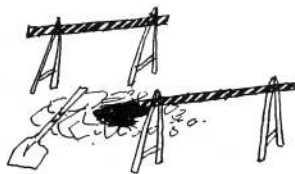
会長に川村三郎氏就任

教育の現状からしてこの問題をさけるわけにはいかない実情にあり同連絡協議会の設立となったものであります。

- 役員
- 委員長 川村三郎(議会代表)
  - 委員 滝村虎雄(学校代表)
  - 葛西武夫(教育委員)
  - 山崎篤也( )
  - 小林淳悦(父兄代表)
  - 岩井久子( )
  - 木村フサ子( )
  - 相沢寿寿子( )
  - 大堀良一(役場)
  - 小田博久( )

自動車税(1期分)の納期限は5月31日です  
納税は期限内に  
渡島支庁

### 通行止めの お知らせ



山火事予防、並びに土木事業の事故防止のため六月十日迄常呂川林道六号線入口に通行止の柵を設置し、一般入林者の入林制限をいたしますのでご協力をお願いいたします。

函館林務署  
鹿部事業所

### 魚釣りはルールを守って

- 釣り竿以外の漁具は使わない。
- 釣り舟をだすときは、一般の漁船と見分けられるよう塗色や標示をする。







### 商業統計調査に

協力を!!

今年も、5月1日現在で、商業統計が実施されます。

この調査は、通産省が二年毎に行なうもので、主な調査項目は、商店名、所在地を始め経営組織、従業者数、商品販売額などで、商店を対象として行なうものです。調査された項目は、その秘密を厳守しなければならぬように統計法で定められておりますので、調査の主旨を御理解の上、御協力下さい。

(総務部企画課)

### 山火事注意



火入れは事前に許可を

### 函館税務署からのお知らせ

◎確定申告がまちがっていたときは

昭和四十六年分の確定申告の受付は三月十五日で終わりました。しかし、確定申告をした後で、内容がまちがっていたことに気づいた方はいらつしやいませんか。確定申告がまちがっているときは訂正することが出来ます。

そこで、訂正の手続などについてお知らせしましょう。  
(税額を少なく計算 していたとき)

所得や税額の計算をまちがって、納めた税金が少なかったり、還付を受ける税額が多かったりしていることがわかったときは、「修正申告」をして正しいものにする事が出来ます。

この修正申告は、税務署から更正の通知があるまでは、いつでも申告することが出来ますが、なるべく早くした方が有利です。

つまり、税務署の調査を受けた後で修正申告をしたとき過少申告加算税がかかりますが、自分でまちがいを発見して調査を受ける前に修正申告をしたときは、過少申告税はかかりません。

(税額を多く計算 していたとき)

所得や税額の計算をまちがったため、税金を納め過ぎていたり、還付を受ける税金が少ないことがわかったときは、正当な税額になおすように「更正の請求」をすることが出来ます。

更正の請求ができるのは、昭和四十八年三月十五日までです。更正の請求をすると、税務署ではその内容を調べて、納め過ぎの税金を返すことになっていきます。  
(確定申告を 忘れていたとき)

確定申告をしなくてはならない人が、忘れていたりして申告をしていなかったとき、期限後でも確定申告をすることが出来ます。

この期限後申告は、税務署から決定の通知があるまでは、いつでも申告することが出来ますが、なるべく早くした方が有利です。つまり、期限後申告をしないで税務署からの決定通知を受けると、税額の10%の無申告加算税がかかりますが、調査を受ける前に申告したときは、無申告加算税は税額の5%ですみません。

### 村民交通傷害保険に加入しよう

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

村民交通傷害保険をごぞんじですか。鹿鹿部村に住んでいる方ならどなたでも加入できます。

1ヶ月40円という安い掛金で最高50万円まで保障されます。

年々増加する交通事故に備え家族ぐるみ加入いたしましょう。

詳しい事を知りたい方、又は加入希望の方は印鑑及び保険料持参のうえ役場総務課へおいで下さい。



### 村の人口

総数 4,806人  
男 2,367人  
女 2,439人  
世帯数 1,028人

(昭和47年4月1日現在)

### 新入学(園)児童を交通事故から守ろう

- 交通ルールは実地で教えましょう
- すこしぐらい遠まわりでも横断歩道を利用させましょう
- 忘れ物のないよう早めに登校させましょう

